

むつ社協だより

「社協」は(社)会福祉(協)議会の略称です。

No 86



謹んで新春の
お喜びを申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと喜び申し上げます。

旧年中は、本会の各種事業の推進につきまして、格別なるご理解とご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年8月に発生しましたむつ市・風間浦村豪雨災害により、甚大な被害を受けられた皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。

また、お忙しい中、被災地でのボランティア活動に参加していただきました皆様、ボランティア活動や被災者支援のための物資・寄付金等をご提供くださいました皆様には心より感謝を申し上げます。

新しい年におきましては、新型コロナウイルス感染症の終息と災害のない一年であることを願うとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのため、役員一丸となり地域福祉の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝・ご多幸を心より祈念いたしました。年頭のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人むつ市社会福祉協議会

会長 遠藤 雪夫

- P1 新年の挨拶
- P2~4 災害ボランティア
- P5 事業の開催案内
- P6~7 事業の実施報告
- P8~10 事業の利用案内
- P11 近川保育園
新入園児募集
- P12 むつ市社会福祉協議会
会員へのご加入にご協力をお願いいたします。

近川保育園「新年あいさつ」

「風間浦村 豪雨災害」 センターの設置



*ボランティア数
延べ 442名

*ボランティア派遣件数
延べ 62件

8月17日から 災害Vセンター開設

昨年8月に発生した豪雨災害では、大畑地区及び下風呂地区を中心に、河川の氾濫や土砂災害が発生し、甚大な被害を及ぼしました。本会では、むつ市からの設置要請を受けて、市政施行以来初めての「むつ市災害ボランティアセンター」を大畑地区の「旧中島児童館」に開設しました。

45日間のセンター運営にあたり、延べ442名のボランティアの皆様にご協力いただくとともに、市民の皆さまをはじめ、企業・団体及び県内社会福祉協議会の皆さまの支援を受けながら、活動を行いました。

【災害ボランティアセンターの機能】

災害ボランティアの活動を円滑に進めるために被災地に設置される拠点となります。

- ①被災者のボランティアニーズの把握
- ②災害ボランティアの受け入れ
- ③ボランティア活動保険加入手続き
- ④災害ボランティアと支援を必要とする地域住民とのコーディネート
- ⑤被災状況、被災者のニーズの把握と関係機関へ情報提供、支援要請
- ⑥その他、被災状況、時期により必要な支援

【ボランティアの派遣基準】

ボランティアの派遣にあたり基準があります。

- ①ボランティアの安全が確保できること
- ②障害者や一人暮らし高齢者など、特に支援が必要な方を優先すること
- ③企業、商店への派遣は基本的に行わないこと



令和3年8月9日「むつ市 災害ボランティア

活動の様子

災害発生！ 「センターの設置」

センターの設置が決定したら、場所や資材、必要な物の準備をし、職員体制を整え、被災地の調査などを行います。

活動の目的や流れ、最低限のマナーやルールを確認します。



資材の確保・準備



被災情報の把握・ニーズ受付



オリエンテーション



ボランティア受付



ボランティアマッチング

ニーズをもとに活動内容を見立て、ボランティアに活動内容を説明します。



ボランティア活動の様子

被害の状況により、様々な内容の活動をします。何日にもわたり活動する現場もあります。



畳や家具の運び出し



泥のかき出し、運び出し



災害ゴミの分別



室内清掃

水を含んだ泥、畳や災害ゴミはとて重くなります。



むつ市災害ボランティアセンターの運営にあたたかいご支援、ご協力ありがとうございました

<順不同>

災害ボランティアに登録、活動いただいた皆様

- ◎東北電力株式会社 むつ営業所 様
- ◎東北電力ネットワーク株式会社
むつ電力センター 様
- ◎航空自衛隊第42警戒群 大湊分屯基地 様
- ◎むつ商工会議所 青年部 様
- ◎リサイクル燃料貯蔵株式会社 様
- ◎東京電力ホールディングス株式会社
東通原子力建設所 様
- ◎株式会社ユーラステクニカルサービス
青森事業所 様
- ◎郵便局長会下北南部会下北北部会 様
- ◎むつ市大畑地区民生委員児童委員協議会 様
- ◎株式会社青森銀行 むつ支店 様
- ◎株式会社青森銀行 大湊支店 様
- ◎大畑町商工会 青年部 様
- ◎下北地域広域行政事務組合消防本部 様
- ◎ライオンズクラブ国際協会 332-A 地区 様
- ◎むつ市体育協会 様
- ◎協同印刷工業株式会社 様
- ◎有限会社マルコウ水産 様
- ◎連合青森下北地域協議会 様
- ◎特定非営利活動法人
むつ下北子育て支援ネットワークひろば 様
- ◎東奥日報下北方部会 様
- ◎一般ボランティア 79名 様



オリエンテーションの様子

センターの運営を支援していただいた社会福祉協議会の皆様

- 【県内社会福祉協議会】
- ◎青森県社会福祉協議会
- ◎弘前市社会福祉協議会
- ◎十和田市社会福祉協議会
- ◎つがる市社会福祉協議会
- ◎平川市社会福祉協議会
- ◎平内町社会福祉協議会
- ◎板柳町社会福祉協議会
- ◎野辺地町社会福祉協議会
- ◎横浜町社会福祉協議会
- ◎三戸町社会福祉協議会
- ◎田舎館村社会福祉協議会
- 【災害時相互応援協定に基づく
むつ下北地域社会福祉協議会】
- ◎大間町社会福祉協議会
- ◎東通村社会福祉協議会
- ◎風間浦村社会福祉協議会
- ◎佐井村社会福祉協議会

物資をご提供いただいた皆様

- ◎ライオンズクラブ国際協会 332-A 地区 様
- ◎アールテック株式会社 様
- ◎むつライオンズクラブ 様
- ◎株式会社東京堂 様
- ◎住友生命保険相互会社 青森支社 様
- ◎明治安田生命保険相互会社 青森支社 様
- ◎ENEOS グローブエナジー株式会社 様
- ◎松宮群子 他有志 様
- ◎青森ライオンズクラブ 様
- ◎NPO 法人青森県防災士会 むつ支部 様
- ◎株式会社青森銀行 むつ支店 様
- ◎むつフレンドリークラブ 様





◎福祉作文コンクール表彰式

本会では、「子どもの頃から福祉にふれられる環境づくり」への取り組みの一環として、日々の生活での福祉体験や、ボランティア活動等を通して得た思いなどを作文で表現することを通じ、次代を担う子ども達の「福祉の心」を育むことを目的に福祉作文コンクールを開催しています。

今回は、小学生7点、中学生92点とあわせて99点もの応募があり、下北国語教育研究会の氣仙会長様他3名の先生方による審査を経て、最優秀賞5作品、優秀賞5作品、佳作5作品の計15作品が入賞となりました。

また、表彰式を左記のとおり開催いたしますので、皆様のご来場をお待ちしております。

●日時 令和4年2月5日(土)
午後2時

●場所 むつ市中央公民館 講堂

●対象 入賞児童及び生徒、保護者、教職員、むつ市民、下北郡町村民

●内容 表彰状授与、入賞者作文朗読他

●参加費 無料

●入賞作品

●最優秀賞の部

『みんなありがとう』
第三田名部小学校 5年 山本 幸

『僕にできる事』
むつ中学校 1年 篠崎 日向斗

『私にできること』
大湊中学校 2年 濱田 琉衣

●優秀賞の部

『個性を尊重して』
大湊中学校 3年 北本 結羽

『幸せの両立』
田名部中学校 3年 齊藤 遥太

『ぼくのおばあちゃん』
大平小学校 3年 佐藤 唯翔

『治療法の無い難病』
田名部中学校 1年 高橋 こはく

『思いやりの輪』
大湊中学校 2年 井上 涼帆

『自慢の妹』
近川中学校 3年 村松 優冷

『パラリンピックから考えること』
大湊中学校 3年 外崎 新

●佳作の部

『バリアフリーとは』
近川中学校 1年 鍋谷 圭

『笑顔を広める仕事』
大湊中学校 1年 佐藤 海翔

『祖母への感謝』
大畑中学校 2年 佐藤 由奈

『本当の優しさとは』
むつ中学校 3年 大館 姫星

『勇敢で誠実な者に』
大湊中学校 3年 吉田 風和

◎ひきこもりサポーター養成講座(後期)プログラム

ひきこもりの状態にある本人や家族等に対するボランティア支援に関心のある方を対象に、ひきこもりに関する基本的な知識について学び、自分にできる支援について考えていただくことを目的に開催します。

●日時 2月19日(土)
午後1時30分から
午後4時30分

●内容 本人・家族の視点に立った支援

●会場 下北文化会館
「展示ホール」

●参加者 むつ市在住の方
(講座終了後にひきこもりサポーターとして登録し、継続的に活動していただける方。)

●定員 30名

●参加費 無料

●申込み 2月4日(金)までに電話にてお申込みください

●問合せ先 生活支援課
☎ 3313023

事業の実施報告

◎集学サロン

7月29日(木)と11月12日(金)に集学サロンを開催しました。

第2回はむつ来さまい館において、消防職員(救急隊員)を講師にお招きし、「救急時の対応の仕方について」と題して、救急車の呼び方やあんしんキットの使い方についての講話をしていただきました。午後からは、ボッチャや輪投げなどのニュースポーツを通して交流を図りました。

第3回は、むつ市下北自然の家において、木工クラフト(写真立て作り)、むつ市災害ボランティアセンター活動報告、修了式を行いました。

参加者からは、「救急車の呼び方を知ることができて安心した」「自分たちができるボランティアを探していきたい」「新しい人と人との繋がりができた」「これからも地域での活動を頑張っていきたい」などの多くの声が聞かれました。



◎ひきこもりサポーター養成講座 (前期プログラム)

ひきこもりの状態にある本人や家族等に対するボランティア支援に関心のある方等を対象に、ひきこもりに関する基本的な知識について学び、ご自身にできる支援について考えていただくことを目的とした「令和3年度ひきこもりサポーター養成講座(前期プログラム)」を10月2日(土)、プラザホテルむつにおいて開催しました。

今回は、青森県立保健大学廣森直子氏、障がい者就業・生活支援センターしもきた三浦和之氏の両名を講師に迎え「ひきこもりについて知ろう」「居場所支援について考えてみよう」「自分たちができることを考えてみよう」についての講義をいただき、受講者からは「身近な問題であることを知った」等の感想が聞かれ、全てのカリキュラムを終えた20名に前期プログラムの終了証を交付しました。



◎ふれあいバスの旅

11月2日(火)と5日(金)に「ふれあいバスの旅」を開催しました。市内在住の65歳以上の方を対象に両日合わせて78名の方々が参加されました。

今年度は、「三戸町・名川観光農園りんご狩りツアー」と題し、三戸町、南部町方面へ出向きました。

今回、三戸町社会福祉協議会のご協力を得て、観光ガイドの方をご紹介いただき、三戸町を詳しく案内していただきました。また、国の重要文化財などの見学をしました。また、三戸城にも足を運び、歴史民俗資料館で南部地方の歴史に触れました。

両日ともに、あいにくの雨で、りんご狩りを楽しむことができませんでした。途中でお買い物を楽しんで、昼食の美味しい三戸町の郷土料理に舌鼓を打つなど、皆さん和気あいあいと楽しまれている様子でした。参加者からは「また来年も参加できるような元気でいたい」「久しぶりに遠出ができて嬉しかった」「三戸町の事を色々知ることができて良かった」等の感想が聞かれました。



◎社会福祉大会

11月19日(金)におむつランドホテルにおいて「第61回むつ市社会福祉大会」を開催しました。

当日は、福祉関係者などが出席し、式典では永年にわたり地域福祉向上にご尽力された方々への表彰及び感謝状の贈呈を行いました。表彰及び感謝状を受けられた方々は、次のとおりです。(敬称略・順不同)

●表彰の部

民生委員児童委員として永年にわたり地域福祉活動に尽力されました。

- 佐々木 満
- 海老名 進
- 安野 真理子
- 瀬川 嘉光
- 宮本 歩
- 大林 良子
- 本多 康子
- 脇江 忠廣

民間社会福祉施設、社会福祉協議会及び社会福祉団体役員として永年にわたり地域福祉活動に尽力されました。

- 阿部 久江
- 向井 京子
- 工藤 金弥

個人または団体等で、社会福祉事業協助力者として、永年にわたり地域福祉活動に尽力されました。

- 竹内 幸弘
- 田中 千穂子
- 近藤 房子



●感謝の部

社会福祉の重要性を深く認識され、令和2年度において社会福祉事業に積極的に協力を援助をされました。

- 下北アピオス振興会
- 下北連合婦人会
- 大畑地区連合婦人会
- むつ市もうたりクラブ
- 谷川 祥子
- 株式会社トーリン
- 海上自衛隊大湊海曹会
- むつフレンドリークラブ
- 龍本寺 和敬会
- 對馬 健幸
- 工藤 和歌子
- 一般社団法人公済会
- 株式会社ユアテックむつ営業所
- 電源開発送変電ネットワーク株式会社
- むつ送変電事業所

◎ふれあいクリスマス会

12月12日(日)にプラザホテルおむつにて、令和3年ふれあいクリスマス会を開催しました。このイベントは、在宅で暮らす障害者とボランティアが共にクリスマスを楽しみ、それによってボランティアの育成を図ることを目的としたもので、NHK歳末たすけあい義援金を活用して例年実施しております。昨年は新型コロナウイルス感染症対策のため実施できず、2年ぶりの開催となりました。

今年には132名の方々が集まり、学生ボランティアと協力して新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、下北地区レクリエーション協会の方々による趣向を凝らした各種レクリエーション、ホテル自慢のお弁当、食後には参加者の方々によるカラオケを実施し楽しいクリスマス会となりました。



事業の利用案内

◎除雪ボランティア

むつ市ボランティア市民活動センターでは、75歳以上の高齢者世帯や身体障害者世帯で、自ら除雪が困難で経済的理由により他に支援を求めることができない世帯の除雪ボランティアを実施しています。

除雪の依頼を受けますと、センター職員が状況確認に伺い必要に応じてボランティアと日程調整を行い除雪活動を実施します。

●対象要件

- (1) 高齢者世帯
75歳以上の高齢者のみの世帯であること
- (2) 身体障害者世帯
身体障害者のみの世帯であること
- (3) 共通事項

- ① 自己所有の一戸建て（借家含）に居住していること
- ② 市内に除雪ができる親族が居住していないこと

- ③ 低所得世帯（参考：世帯の収入合計が概ね月に12万円未満）

●期 間

3月31日まで
月曜日～金曜日（祝日を除く）

●時 間

午前9時～午後4時まで

●除雪箇所

出入口、ストーブの排気口確保。屋根の雪下ろしは行いません。

●問合せ先

むつ市ボランティア・市民活動センター ☎33-3023

◎除雪ボランティアを募集します

近隣に親族等がいなく、自力での除雪が困難な高齢者世帯や身体障害者世帯の除雪支援をお手伝いしてくださるボランティアを募集しています。

除雪ボランティアの活動を希望する方、関心のある方はぜひ登録をお願いします。

●募集範囲

むつ市内在住で除雪活動に協力できる方

●募集期間

3月31日まで随時受付

●留意事項

登録者の皆様には万が一の事故・ケガ等に備えボランティア保険に加入していただきます。

●申 込

（自己負担はありません。）

●問合せ先

むつ市ボランティア・市民活動センター ☎33-3023

◎むつ市ひきこもり相談窓口

ひきこもりに悩んでいるご本人やご家族の相談に応じるため「ひきこもり相談窓口」を開設しています。

ひきこもりの状態が続くとご本人だけでなくご家族も心配や不安が募ります。

ひきこもりは、その要因として様々な背景が絡み合っていることがあり、それぞれ

の状態に応じた対応を考え、工夫していくことが必要です。

「もう遅い」などとあきらめたり、家族だけで抱え込まず、まずはご相談ください。

●相談日時

月曜日～金曜日（祝日を除く）
午前9時～午後5時まで

●問合せ先

ひきこもり相談窓口 ☎22-2731

◎ひきこもり当事者の集い「ふらっとほーむ」

青年期の「社会的ひきこもり」の状態にあり社会参加が困難な方を対象に、家庭以外の居場所や同世代を中心とした対人関係を経験する場を提供し、社会参加を促進することを目的としています。

●対象者

ひきこもり相談窓口相談に来られ、「ふらっとほーむ」への参加が適当であると認められる方。

●場 所

むつ市海老川コミュニティセンター

●参加費

無料

●活動内容

スポーツ・レクリエーション・話し合い等

●問合せ先

ひきこもり相談窓口 ☎22-2731

◎ひきこもり家族の集い
「ほっとすぺーす」

ひきこもりや心の悩みを抱え、なかなか社
会とつながれずにいるご本人への理解を深め
るための家族会です。本人の年齢、家にいる
期間、病気や障害の有無など、本当に様々で
すが、「なんて声をかけたらいいか」「どう関
わったらいいか」といった悩みは皆さん共通
するものがあります。ご家族の心が少しでも
軽くなるように、私たちも共に考えてまいり
ます。

●場 所 おつ市海老川コミュニテイセ
ンター

●参加費 無料

●活動内容 精神保健福祉士・保健師等に
よる講話や座談会、参加者同
士の体験を語る話し合い、ひ
きこもりに関する基本的な理
解及び対応を検討するための
研修等。

●問合せ先 ひきこもり相談窓口

☎22-273-1

「ふらっとほーむ」日程	
月	日
2	10(木)・25(金)
3	11(金)・25(金)
4~	第2・第4金の予定

13:30~15:30

「ほっとすぺーす」日程	
月	日
2	24(木)
3	24(木)
4~	第4木の予定

17:30~19:00

◎居住支援法人の
指定を受けました

この度本会は、住宅セーフティ
ネット法に基づき居住支援を行う法
人として、令和3年8月20日に青森
県知事より指定を受けました。

高齢者や障害者などの「住宅」を
確保するための配慮が必要な方々に
対する相談対応に併せ、必要な支援
を行います。

高齢や障害等を理由に、不動産店
でお部屋が借りられない等でお困り
の方は、左記へご相談ください。

●業務内容

- (1) 登録住宅の入居者への家賃
債務保証
- (2) 住宅相談など賃貸住宅への
円滑な入居に係る情報提供及
び相談
- (3) 見守りなど要配慮者への生
活支援
- (4) (1)~(3)に附帯する業務

●問合せ先 生活支援課

☎33-3023

- ① 住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度
- ② 登録住宅の改修・入居への経済的支援
- ③ 住宅確保要配慮者のマッチング・入居支援

【新たな住宅セーフティネット制度のイメージ】



◎教育支援資金貸付のお知らせ

低所得世帯を対象として、就学に係る費用を貸付する「生活福祉資金(教育支援資金)」貸付事業を実施しています。お子さんの就学に当たり、学費及び生活費の捻出にお悩みの際は、左記へご相談ください。

- 貸付対象 低所得世帯(住民税非課税世帯程度)
- 貸付条件
 - (1) 金融機関及びその他施策制度から融資を受けられない世帯
 - (2) 日本学生支援機構等の奨学金を活用しても就学に要する経費を賄えない場合

●貸付限度額

(1) 教育支援費

低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校に就学するために必要な経費

- 高校 月額 3万5千円以内
- 高専 月額 6万円以内
- 短大 月額 6万円以内
- 大学 月額 6万5千円以内

(2) 就学支度費
低所得世帯に属する者が高等学校、大学又は高等専門学校への入学に際し必要な経費

50万円以内

●貸付利子

無利子

●申込者 子ども等を借入申込者とし、保護者を連帯借入申込者とします。原則、連帯保証人は不要です。

●貸付審査

青森県社会福祉協議会の審査となります。この結果、貸付を受けられない場合があります。

●問合せ先

本所	☎ 33-13023
川内支所	☎ 42-12002
大畑支所	☎ 34-13537
脇野沢支所	☎ 44-13550

◎福祉サービスに関する 苦情解決体制

社会福祉法人むつ市社会福祉協議会では、本会が実施する事業について利用者等からの苦情を迅速、適切に解決するための体制、処理方法を定め、利用者の権利を擁護するとともに、当該事業を適切に利用することができるよう支援することを目的としています。
苦情を適切に解決するための体制は次のとおりです。

●事業所名

社会福祉法人むつ市社会福祉協議会

●所在地・連絡先

〒035-0073 むつ市中央1-8-1
むつ市役所本庁舎内
☎ 33-13023 FAX 23-15093

●苦情解決責任者

石野 了 (事務局長)

●苦情受付担当者

渡部 章一 (総務課長・本所)

東 隆行 (川内・脇野沢支所長)

中 篤美 紀 (大畑支所長)

芳 賀 保 (近川保育園長)

●第三者委員

柏木 ハル (22-13456)

松橋 知紀 (080-16002-7427)

宮本 歩 (22-12443)

二本柳 信行 (090-11494-6740)

●苦情解決の方法

(1) 苦情の受付

苦情は、面接、電話、書面などにより苦

情受付担当者が随時受け付けます。なお、第三者委員に直接申し出ることもできます。

(2) 苦情受付の報告

苦情受付担当者が受け付けた苦情を、苦情解決責任者と第三者委員(苦情申し出人が第三者委員への報告を希望しない場合を除く。)に報告いたします。

(3) 苦情解決のための話し合い

苦情解決責任者は、苦情申し出人と誠意をもって話し合い解決に努めます。その際、苦情申し出人は第三者委員の助言や立会いを求めることができます。

●その他

本会内で解決できなかった場合、または外部に直接相談したい場合は、関係機関を紹介します。

(1) 社会福祉法で対象となる福祉サービスに対する苦情について
青森県運営適正化委員会
(青森県社会福祉協議会内)

連絡先

〒030-0822
青森市中央3-20-30
☎ 017-731-3039
FAX 017-731-3098

近川保育園新入園児募集

子育て世代の就労支援等を目的に認可保育園を設置開設しており、令和4年度の新入園児を募集しております。

当園の特色として、「和太鼓を通じ「集中心力」、「持続力」、「協調性」を身につけるとともに、季節に応じた諸行事及び延長保育を実施しております。

また、送迎バスを完備し、ご希望により園児の送迎を行っておりますのでご家庭の実情に合わせてご利用ください。

◎入園のご案内

●入園要件

- ・お父さん、お母さんが仕事をしている場合
- ・疾病、心身に障害のある場合
- ・出産、求職活動中の場合(ご相談ください)

●受入年齢

生後4か月～小学校就学未満

●入園定員

50名

●開園時間

午前7時～午後6時30分
(延長保育含む)

●入園時期

4月1日

(年度の途中でも入園できます)

◎主な保育サービス

- 延長保育 午後6時～午後6時30分
 - 乳児保育 生後4か月
 - 障害児保育 集団生活が可能な園児
 - 食物アレルギー給食
- 食物アレルギーをお持ちのお子さんに



◎保育園の特色

●バス送迎

希望により、生後6か月以上の園児を対象に、保育園までの送迎を実施しております。

●保育理念

自然豊かな環境の中で、子ども一人ひとりを大切に、家族、地域に信頼され愛される保育園を目指しています。

●保育方針

健康で明るい子
しつけのよい子
物を大切に
する子
思いやりのある子

●和太鼓

日本総合音楽研究の講師による指導を行っています。和太鼓を通じ、集中心力、持続力、協調性を身に付けていきます。

●異年齢交流

地域の小・中学校、養護学校との交流を行うことで社会性や人と関わる喜びを育んでいきます。

●世代間交流

地域の婦人会やお年寄りを行事に招待したり、老人福祉施設を訪問し、交流を行っています。

●陶芸教室

釜臥荘にて年長児が陶芸体験をし、オリジナル作品を制作します。

●施設見学

近川保育園
お問合せ
☎26-2117



むつ市社会福祉協議会会員へのご加入にご協力をお願いいたします。

むつ市社会福祉協議会（以下「社協」といいます。）は、地域の皆様に支えられた民間の福祉団体です。社協の事業を進めるための財源は、会員会費、寄付金のほかに、青森県社会福祉協議会、青森県共同募金会及び市からの補助金、助成金及び受託金により賄われています。

社協は、営利を目的としないため、事業を維持・発展させるための資金を集めることが大きな課題となっています。

このうち会員会費と寄付金は、社協が民間福祉の推進機関として、自立的な活動を展開するための重要な資金となっています。

社協の活動をご理解いただき、ひとりでも多くの皆様の社協会員へのご協力をお願いいたします。

◇ 会員の種類 ◇

区 分	対 象	年 会 費
正 会 員	本会の理事・監事・評議員及び職員	3,000円
普通会員	むつ市に住所を有する世帯／町内会等の市民組織団体、福祉関係組織及び団体	1,000円から
賛助会員	社会福祉に関心を有し、本会の目的に賛同する一般個人又は法人団体等	3,000円から

◇ 入会方法 ◇

会員にご加入いただける場合は、本会へご連絡をいただけますと職員が伺い、入会申込書に必要事項をご記入いただき、会費納入方法等についてご案内させていただきます。

○ 問合せ・連絡先 総務課 ☎33-3023

福祉への心温かい、ご寄付ありがとうございました。

皆様からいただいた寄付金は、各種の地域福祉事業に活用しております。

匿 名 様	3,000円
匿 名 様	9,065円
ライオンズクラブVSロータリークラブ 合同ゴルフチャリティコンペ 様	20,000円
匿 名 様	50,000円
海上自衛隊大湊海曹会 様	44,800円
匿 名 様	10,000円
株式会社トーリン 様	50,000円
龍 本 寺 様	36,000円
昭和43年度田名部高等学校 3年2組クラス会 様	35,894円
むつフレンドリークラブ 様	30,000円
匿 名 様	30,000円

主な物品寄付

有限会社関商店 様	介護用品	多数
福 嶋 雄次郎 様	ビデオテープ	48本
匿 名 様	介護用品	多数
有限会社関商店 様	介護用品	多数
一般社団法人公済会 様	タオル	800本
伊勢田 智 美 様	ベビーカー	1台
有限会社関商店 様	布団類	
匿 名 様	尿取りパッド	5袋
	トイレ処理袋	14枚
佐々木 隆 雄 様	青森りんご	3箱
佐々木 隆 雄 様	青森りんご	3箱
匿 名 様	おもちゃ	5個

令和3年7月1日から令和3年12月31日まで